

紫峰の風

shihou no kaze

筑波大学

University of Tsukuba

第20号 2021年4月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへとお届けする」という意味が込められています。

筑波大学紫峰会基金にご寄附いただいている皆様へ

～学長からお礼のメッセージ～

日頃より筑波大学の活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。保護者のみなさまにおかれましても、厳しい社会情勢が続くなか、大変多くの皆様から「筑波大学紫峰会基金」にご寄附を賜り、心よりお礼申し上げます。

本学では、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、学生の課外活動や学生生活が充実したものとなるよう、一層支援を続けてまいります。保護者のみなさまにおかれましては、本学の活動へのご理解ならびに学生への温かいご支援のほど、引き続きよろしくお願い申し上げます。



筑波大学長 永田 恭介



学位記の授与

令和2年度 筑波大学卒業式・大学院学位記授与式

3月25日、令和2年度筑波大学卒業式・大学院学位記授与式が学生会館講堂で挙行されました。今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、式典の出席者は卒業生・修了生のみとなりました。

桜満開の晴れ渡る空の下、午前の学群卒業式では学群卒業生2,205名および理療科教員養成施設卒業生10名、午後の大学院学位記授与式では大学院修了生2,169名が新たな一歩を踏み出しました。



永田学長式辞

令和3年度 筑波大学入学式・大学院入学式

4月5日、令和3年度筑波大学入学式・大学院入学式が学生会館講堂で挙行されました。今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、式典の出席者は新入生のみとなりました。

小雨が降り、少し肌寒いながらも木の葉の緑が鮮やかに萌える中、午前の学群入学式では学群生2,247名および理療科教員養成施設入学生12名、午後の大学院入学式では大学院生2,443名が入学し、新たな学生生活のスタートを切りました。

－内容－

キャンパスニュース	1、2頁
全代会、文サ連、芸サ連、体育会活動紹介	3、5、7頁
紫峰会基金より	4項
学生生活課より、就職課より	6、7頁
学生相談室から、桐の葉日記	8頁

今後の主な予定 (変更になる場合があります)

春季スポーツ・デー	5月15、16日(予定)
春Aモジュール期末試験	5月19日
春ABモジュール期末試験	6月24日～6月30日
春ABCモジュール期末試験	7月30日～8月5日
同(東京キャンパス・夜間)	7月24、27、28、30日、8月5日
春学期授業終了	8月5日
同(東京キャンパス・夜間)	7月29日
期末試験予備日(東京キャンパス・夜間)	7月31日、8月3、4日
春Cモジュール期末試験	8月6日
夏季休業	8月7日～9月30日
同(東京キャンパス・夜間)	8月6日～9月30日

キャンパスニュース

合格発表

令和3年度個別学力検査(前期日程、後期日程)の合格発表は、新型コロナウイルス禍に鑑みキャンパス内での合格者の受験番号の掲示を中止し、筑波大学基幹サイト(ホームページ)のみで発表されました。

東京2020オリンピック内定

梶原 悠未
(筑波大学大学院 人間総合科学学術院 体育学学位プログラム在学)



自転車トラック競技女子オムニウム、女子マディソンの代表内定。
2020年6月4日(木)、日本自転車競技連盟(JCF)がオンライン会見を開き発表しました。
2020年2月の2020UCIトラック世界選手権大会で、女子オムニウムで優勝し金メダルを獲得、トラック競技で日本人初の世界女王となりました。
2020年11月におこなわれた全日本自転車競技選手権大会トラック・レースでは、オムニウムで3連覇するなど6冠を達成しています。

2020年2月世界選手権「提供:More CADENCE (morecadence.jp)」

東京2020パラリンピック内定

瀬立 モニカ
(筑波大学体育専門学群在学)



カヌーKL1の代表内定。
リオデジャネイロ2016パラリンピックで8位入賞。
2019年8月に開催されたパラカヌー世界選手権で5位に入賞し、代表内定を獲得しました。

2019年8月世界選手権「本人提供」

新型コロナに係る学生への食料支援事業(第1回:1月22日、第2回:2月17・18日実施)

事業開発推進室

この度、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実家からの仕送り、アルバイトの激減等により困窮する学生を支援するため、今年1月と2月に「新型コロナに係る学生への食料支援事業」を実施しました。地域の企業・法人様をはじめとし多くの企業の方々、卒業生の皆様方、教職員などから総量にして約30トンの食料品の提供を受け、約4,700人の学生に支援することができました。

今回の支援により、学生も安心して勉学に励むことができ、将来を担う人材として成長してくれることを確信しています。

また、筑波大学としては初めてのこのような事業を実施しましたが、これほどまでに多くの学生が支援を求めているのかということが分かり、今後も継続した支援を実施していく必要があると感じております。今後とも学生への温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



協力団体等から寄附された数多くの食料品等



食料品を受け取る学生

新入生歓迎祭(Web)



YouTube配信による課外活動団体の紹介の様子

2021年度新歓祭推進委員会委員長の伊藤香菜子と申します。毎年、筑波大学では入学式に合わせて大規模な新入生歓迎(新歓)活動が行われています。今年は、例年、ピラ配りやステージでのライブ等で盛り上がっていた新入生歓迎祭本祭はオンラインのみでの開催になり、大規模な会食等が行われていた新歓月間は会食禁止など、コロナウイルス感染拡大の影響で規模の縮小を余儀なくされました。しかし、その代わりにこれまで行っていなかったYouTube配信の実施や新歓webのリニューアルなど、コロナ禍においてできることを精一杯取り組んでおります。

また、コロナ禍ということで、新入生の皆様はもちろん、新歓する側の団体の皆様も不安を感じていると思います。そんな中、各団体の新歓を担当して下さっている方々も様々な工夫をされているので、少しでもそのサポートができるよう、新歓祭月間(4月5日～5月31日)が終わるまで新歓祭推進委員会一同努めてまいります。

昨年は、新入生が課外活動団体の存在をよくわかっていないまま一年を過ごしてしまったという声も届いています。今年は新入生の皆様に筑波大学の課外活動団体のことをよく知っていただき、それぞれの希望にあった団体に入ってもらえることを心から願っています。

(寄稿/2021年度新入生歓迎祭推進委員会委員長 伊藤香菜子・生3年)

【ウェブサイト】
<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~shinkan-web/>



～学生から食料支援事業関係者の方々へ～

オンライン授業で人間関係を保つことが難しく、なかなか不安が解消されませんでした。今回大勢の筑波大生や支えてくださる方々を目にし、とても心強く思いました。食料だけでなく、こうした機会に感謝しています。

地域住民の方々や企業、先生方、卒業生の先輩方からたくさんのご支援いただきました。バイトのシフトも減り、年末年始には帰省もできずだったので、支援者の皆様のメッセージや支援物資がとても嬉しかったです。

追加支援の際に、米やインスタント食品、お菓子や野菜などたくさんの食料をいただきました。支援事業者の中にはコロナの影響を受け生活が厳しくなった方もいたのではないかと思います。学生の為に、という皆様の温かい心遣いによって、生活に少し余裕が生まれました。大切にいただきたいと思います。

沢山のご支援ありがとうございます！
コロナで皆が苦しい中で支援して下さり、感謝しかありません。特に、1人暮らしで生活に必要な不可欠なのは食料で、このご恩を忘れず、今後も自分の研究、働き、行動など、どこかで助け合える人材になりたいです。本当に、ありがとうございます。これからも応援してください。がんばります！

沢山のご支援ありがとうございます。
飲食店でアルバイトしていましたが、時短営業や経費削減でシフトが減ってしまいました。家族や友人にもなかなか会えず、日々寂しさを感じていましたが、皆様の温かいご支援を受けて頑張ろうと思いました。本当にありがとうございます！！

課 外 活 動

つくば鳥人間の会



コロナ禍中での作業風景 2021（令和3）年2月27日撮影

筑波大学つくば鳥人間の会では大学の自粛要請が出てから2月の頭まで作業を休止していました。2月の頭以降は来年の大会を見据え活動を再開いたしました。会の作業場は屋外にあり、換気は十分であると思います、それに加え作業中はマスク着用、アルコール消毒、作業後のご飯自粛など基本的な感染対策を行っています。2月には、ようやく9人の新入生の本入会が行われました。3月には先代の機体を使ったテストフライトを実行予定で、我々の代の機体製作も始まります。コロナの影響もあり、活動人数が少ないなど多くの課題を抱えています。鳥人間コンテスト出場に向けて機体製作に励んでまいります。

（寄稿／つくば鳥人間の会会計 内山雄太・エシス3年）

軟式庭球部



秋季リーグ大会にて 2020（令和2）年11月1日撮影

軟式庭球部は、日本で初めて創られた軟式庭球のクラブチームです。その歴史は非常に長く、2021年には創立133年となります。現在は、男子6人、女子5人で、週4日活動しています。体育専門学群をはじめ、人文学類・工学システム学類・社会工学類など様々な学類の部員がいます。そして、インターハイで結果を残している部員もいれば、硬式経験のある部員、中学のみの経験者もあり、異なるバックグラウンドを持つ部員同士、お互いに声を掛け合いながら切磋琢磨しています。学年の垣根が感じられない、温かな雰囲気がこの部の大きな特徴です。

また、軟式庭球部は関東学生ソフトテニス連盟に所属し、男女ともに3部です。現在は2部昇格を目標にしています。

昨年度は感染症の拡大により、例年通りの活動という訳にはいきませんでした。そんな状況だからこそ、自分の活動について考える機会も多く、たくさんの方の支えによって日々の活動があることを強く実感しました。支えて下さる皆様のためにも、練習に精一杯取り組み、恩返しをしていきたいと思っております。

（寄稿／軟式庭球部 小林桃子・比文2年）

書道部



オンライン書道パフォーマンス発表会の作品 2021（令和3）年2月23日撮影

こんにちは！私たち書道部は、普段の活動では和やかな雰囲気、部員一人一人が漢字や仮名の臨書をはじめ、近代詩文などの創作、ペン字などに楽しく取り組んでいます。また、展示会への出品なども行っており、それらに向けた練習もしています。

他にも学園祭では書展と書道パフォーマンスを行っています。書展では、日頃から練習してきた作品を展示し、書道パフォーマンスでは、巨大な紙に音楽に合わせて、全身で文字を書き、作品を作ります。個人活動の多い書道ですが、部員一丸となって行う書道パフォーマンスは感動もひとしおです。

今年度は、コロナ禍で活動が制限されていましたが、神戸大学主催のオンライン書道会に参加し、他大学との交流を深めることができました。

（寄稿／書道部部长 石川実果・数学3年）

医学バドミントン部



活動自粛前の試合風景 2019（令和元）年11月撮影

医学バドミントン部は基本的に毎週月、水、土曜日の3日間に加えて木曜日に希望練習を行っています。中学、高校からの経験者だけでなく大学からバドミントンを始める部員も多いです。また大きな特徴として、所属部員数が医学の部活の中ではかなり多く、医学部だけでなく情報系や心理、芸専といった多様な学類の学生が所属しています。練習はしっかりと行いますが、参加は自由でみんなそれぞれのペースで部活に参加して楽しんでいます。昨年度は新型コロナウイルスの影響で実施できませんでしたが毎年、東日本医科学学生総合体育会、関東コメディカルリーグといった大会に出場しているため、それをモチベーションにする人も多くいます。医学バドミントン部をよろしく願います。

（寄稿／医学バドミントン部主将 玉城泰斗・医学3年）

令和2年度 課外活動団体援助金系別配分額について

令和2年度課外活動団体援助金の総額は2,130万円で、2月26日の筑波大学紫峰会基金運営委員会にて通常活動に対する一般援助金を1,150万円、宿泊交通費に対する遠征援助金を980万円とし、系別配分額が承認されました（下表参照）。

系別配分額は全課外活動団体から提出された過去1年間の収支計算書を三系それぞれで査定・集計し、学生財務会議（文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会、体育会、全代会の代表者で構成）で議論・作成したものです。

その後、全ての課外活動団体（135団体）に対して課外活動団体援助金を支給しました。

令和2年度 筑波大学紫峰会基金課外活動団体援助金系別配分額

(円)

		文サ連	芸サ連	体育会	合計
援助金総額	援助金総額	2,551,932	2,231,133	16,516,935	21,300,000
	総支出	22,875,428	28,446,878	191,576,020	242,898,326
一般援助金	援助金額	1,306,386	1,788,337	8,405,277	11,500,000
	総支出	13,987,234	24,962,187	122,420,073	161,369,494
遠征援助金	援助金額	1,245,546	442,796	8,111,658	9,800,000
	総支出	8,888,194	3,484,691	69,155,947	81,528,832

令和2年度 課外活動団体援助金額ランキング

筑波大学紫峰会基金では、毎年三系の加盟団体に対して課外活動団体援助金を支給しています。この援助金は団体が過去1年間に活動した実績に対するもので、学生が中心となって配分額を作成しています。

課外活動団体援助金支給までの流れ

- ①各団体の会計がその団体の1年分（10月～9月）の収支計算書と領収証等を三系の財務局に提出
- ②筑波大学紫峰会基金運営委員会で課外活動団体援助金の予算額を決定
- ③各系の会計局を中心に提出された収支計算書と領収証等を査定し、折衝用の基礎資料を作成
- ④三系代表学生の自主的な折衝（学生財務会議）を経て系別配分額案を作成
- ⑤筑波大学紫峰会基金運営委員会で系別配分額案を承認
- ⑥系毎に加盟団体別の援助金額を決定
- ⑦課外活動団体援助金を全団体に支給

なお、各団体の援助金入金確認と利用状況については、毎年全課外活動団体に対して実施している会計面接の中で確認しています。今回は3月末に援助対象の135団体へ支給しました。令和元年度課外活動団体援助金（総額2,130万円）の中で、援助金額の多い上位10団体を紹介します。

令和2年度 課外活動団体援助金額 TOP10

(円)

順位	文化系サークル連合会	芸術系サークル連合会	体育会	体育会医学部会
1	野生動物研究会 833,373	津軽三味線倶楽部無絃塾 318,491	蹴球部 1,614,488	医学アイスホッケー部 1,127,160
2	つくば鳥人間の会 245,172	ジャズ楽団 299,891	ラグビー部 1,369,873	医学スキー部 520,457
3	TOJO K-ON 193,210	応援部WINS 182,080	陸上競技部 1,252,722	医学バドミントン部 432,367
4	歌留多部 186,915	吹奏楽団 181,597	女子サッカー部 1,085,857	医学弓道部 379,891
5	現代視覚文化研究会 96,122	舞踏研究会 146,156	男子ラクロス部 732,843	医学硬式庭球部 351,067
6	筑波大鉄研「旅と鉄道」の会 70,044	筑波音楽協会 120,292	女子バスケットボール部 610,674	医学ゴルフ部 311,265
7	野外活動クラブ 67,332	E.L.L.(筑波軽音楽協会) 105,767	硬式野球部 548,950	医学サッカー部 167,178
8	文芸部 51,905	管弦楽団 97,633	男子アイスホッケー部 374,155	医学ヨット部 145,796
9	社会福祉研究会 48,746	アカベラサークルDoo-Wop 80,376	男子バスケットボール部 359,035	医学準硬式野球部 74,631
10	茶道同好会 45,297	フォルクローレ愛好会 63,009	男子バレーボール部 356,046	医学卓球部 62,125
	全34団体合計 2,551,932	全30団体合計 2,231,133	全53団体合計 12,705,130	全18団体合計 3,811,805

筑波大学紫峰会基金に寄附してくださった皆さまへ

皆さまからいただいたご寄附の全額を課外活動団体援助金等として、使用させていただいております。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をさらに充実することができました、大変感謝しております。

今後も我々の活動を見守ってください。

課外活動団体一同

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議の紹介

令和2年度 議長 伊藤暢紀
(情報学群知識情報・図書館学類3年)



全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議とは、筑波大学に公的に組織されている学生組織の一つです。全代会と呼ばれております。全学という名前にもあるように、筑波大学に存在するすべての学群や学類に関わる活動を行っております。全代会の活動目的は、筑波大学生の権利や利益などを守ることです。具体的な活動としては、学生から寄せられた意見などに対し、全代会が意見の取りまとめや会議を実施したのち、大学側に学生の意見を共有する、問題の解決や改善に動いてもらうといった活動をしております。昨年度は、新しい生活様式の下、オンライン授業や授業開始が遅れたことによる土曜授業の実施に対して、1000名を超える学生の意見を吸い上げて大学と共有し、学生への負担を大きく減らすために活動を行いました。今後も新たな問題や検討していくべき活動に向けて、大学の学生代表組織として取り組んでまいります。今後とも全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議をよろしく願っています。

文化系サークル連合会の紹介

第46期運営委員長 ^{ヒツガ} 鶴田佐季
(芸術専門学群2年)



文化系サークル連合会（以下、文サ連）は筑波大学の多種多様な学生団体からなる組織で、課外活動をより良いものにする支援を行うために運営されています。現在約40団体が文サ連に加盟しており、文化系という名称ながら所属団体の活動内容は作品制作からボランティアまで非常に幅広いものになっています。運営形態としては、毎年各所属団体から新たに運営委員が選出され、7つの局に配属されます。文サ連の具体的な業務には文サ連専用印刷機の貸し出し、文サ館の会議室の管理、広報誌 Circle Network の発行、学生生活課からの情報の周知、会計業務の支援などがあります。また、皆様のご寄付からなる紫峰会基金援助金は各団体の貴重な活動資金であり、文サ連はその配分も担っています。筑波大学の豊かな文化活動は、皆様から賜った紫峰会基金によって常に支えられています。厳しい時代ではありますが、変わらぬご支援のほどどうぞよろしくお願い致します。我々文サ連運営委員一同も筑波大学の文化活動の更なる振興のために尽力いたします。

芸術系サークル連合会の紹介

第45期運営委員長 高橋星花
(人文文化学群人文学類2年)



初めまして。芸術系サークル連合会第45期運営委員会委員長を拝命いたしました、高橋星花と申します。昨年度も大変お世話になりました。ありがとうございました。令和3年度も引き続きよろしく願っています。さて、筑波大学の芸術系サークル連合会には、軽音楽や合唱などの音楽系や、展示系、応援部など、多種多様なサークルが所属しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新入生があまり加入しなかったサークルや、活動場所が確保できなかったサークルも多くありました。しかし、各団体の尽力でしっかりと存続し、今できることを全力で行っています。今年度もどうなるか分かりませんが、精一杯活動していく所存です。全国の大学でも珍しい「芸術」の名を冠するこの芸術系サークル連合会に所属する団体を、ひいてはこの筑波大学を、これからも芸術の面から盛り立てて参ります。どうぞ応援のほど、よろしくお願い致します。

体育会執行委員会の紹介

第45代体育会執行委員会委員長 則安克美
(理工学群工学システム学類4年)



日ごろから多大なるご支援、ご協力の程ありがとうございます。第45代体育会執行委員会、委員長の則安克美と申します。今回は私が所属しております体育会執行委員会について紹介させていただきます。体育会執行委員会とは71団体、約3500人の構成員からなる体育会を総括し、それぞれの団体が、円滑に活動、運営できるよう陰ながらサポートしている組織です。主な活動として、毎月の代表者会議、運営委員会の運営、リーダー研修会や体育会納会などの大きな行事も運営しております。筑波大学体育会は他の大学と違い、「多様な価値観の団体が共存していること」、「所属団体は大学に認められた課外活動団体であること」という2つの大きな特徴があげられます。このような特徴は筑波大学独自のものであり、これからも大切に継承していく必要があると考えています。この体育会をサポートしてくれるのが私たちの仕事です。先の見通せない状況ではありますが、これからも各団体がより良い活動が行えるようサポートして参ります。これからの筑波大学体育会、また、スポーツ界の更なる発展のためご支援とご協力のほど、よろしくお願い致します。

医学部会執行委員会の紹介

第45代体育会執行委員会医学局長 菅江泰有
(医学類2年)



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活で楽しみにしていることは多くあると思いますが、部活動がその一つであるという人もたくさんいらっしゃると思います。それらの体育会系の部活動の運営がスムーズに行われるようにさまざまな業務を行うのが体育会執行委員会という組織です。この体育会執行委員会の下に設置されているのが医学部会執行委員会です。医学部会執行委員会の最大の役割は医学部会に所属している課外活動団体の運営がスムーズに行われ、大会でよい成績を残せるようにサポートすることです。構成員は委員長、副委員長、広報局長、総務局長、会計局長、財務局長、書記局長の計7人です。例えば、総務局長であれば部の代表者が集まる会議の進行や資料作成をしたり、会計局長であれば各団体から領収書を受け取って医学部会の支出を管理したりといった仕事があります。次に医学部会について紹介します。医学部会は東日本医科学生総合体育大会（通称：東医体）、及びそれに準ずる大会（関東医歯薬獣医リーグなど）に出場することを目的とした課外活動団体で構成されています。医学部会には計18団体が所属しており、体育会本部とは別に一定の範囲で自治を行っています。東医体とは医学生以外にはあまり知られていませんが年に1度東日本の医学系部活が一堂に会し、各競技における東日本の頂点を争う大会です。1週間ほどにわたって行われる大きな大会で、各選手並々ならぬ思いで臨んでいます。筑波大学では多くの団体が東医体で優秀な成績を収めていて2018年に行われた第61回東医体では、夏季競技終了時点で総合成績が1位でした。医学生は医学の勉強や実習に追われているイメージを持っている人が多いと思いますが、実際は忙しい中でも時間を見つけて部活動に全力で取り組んでいる人が多くいます。このような努力が東医体での優秀な成績につながっていると思うと嬉しく思います。現在、去年から続くコロナウイルスの影響で医学部会の活動を自粛しているため、医学部会執行委員会の主だった活動はありませんが、医学部会の活動が再開した時に円滑に活動ができるように委員一同、至らない点もあると思いますが、しっかり頑張りますので今後ともよろしくお願い致します。

学生の父母等の皆様へ 正体を隠した悪質な宗教団体の勧誘被害を防ぐために 学生部学生生活課

毎年、入学式後のサークル勧誘時期には「学生サークル」、学生生活に慣れてくると「ゼミや勉強会」、就職活動の時期になると「就活相談」などと称して、宗教団体が正体を隠し、親切・丁寧な声掛けで勧誘活動を行っています。いったん参加してしまうとマインドコントロールが進み入会（入信）に至り、自分の意志で脱会することが難しい団体が多いようです。

【新入生や就活生がターゲット?】

正体を隠して悪質な勧誘を行う宗教団体は、右も左も分からない新入生や就活に悩みを抱える学生をターゲットに、一見宗教団体と分からないような巧妙な手口で勧誘を行います。「わたしはそんな変なことにはだまされるはずがない」と思っている人ほど要注意です。本学においては、授業（フレッシュマン・セミナー）や各種配布物、ポスターを通じて注意喚起するなど、その対策に取り組んでいますが、勧誘される側の学生に危機感がないことから、被害に遭う学生が後を絶たない状況です。

【本学での宗教団体の活動実態】

学生サークル等になりすまして勧誘している宗教団体は、大学周辺のアパート、マンション等の一室や一軒家を借りて活動の本拠地としています。上級生に言葉巧みに勧誘された新入生は、徐々にマインドコントロールにかかっていきます。ようやく宗教団体であることを告げられる頃には、マインドコントロールも終わり上級生との信頼関係も構築され活動を続けてしまうようです。2年生になると、今度は自らが新入生を勧誘する側になります。本学では、勧誘を受けた学生や途中で脱会した学生などから多くの情報を得ておりますが、ある宗教団体では、Web上に「新入生の生活相談」等のブログを作るなど、巧妙な勧誘を続け、新入生を勧誘していることが確認されています。

【本学における宗教活動の制限】

一般生活上においては、思想・信条の尊重（信仰の自由）・自治的活動（結社活動や意見表明の事由）を理由なく制限することはできませんが、本学では、『国立大学法人筑波大学学生の活動に関する法人規程』において、学内における特定の政党を支持する政治活動や特定の宗教のための宗教活動を禁止しています。その大きな理由は次の3つの理由からです。

- ①サークル活動であれ、宗教活動であれ、学生の本分である学業を圧迫するのは問題です。宗教団体は、学生に勧誘や献金のノルマを課します。授業時間以外は、朝から夕方までキャンパス内で勧誘を行ったり、夜はアパート等への訪問伝道を行ったり、集会参加の旅費や献金のために膨大な時間をアルバイトに費やしたりすることにもなります。
- ②正体や活動目的を隠し、マインドコントロールを駆使して勧誘を行う団体は、それ自体が個人の自由な意思決定を阻害しているといえます。また、そのような勧誘行為を行う学生も、かつては十分な情報や適切な説明を受けずに入信した被害者であり、勧誘する者、される者とも早期の対応が必要となります。
- ③大学教育、特に1年次、2年次においては、学生の柔軟で自律的な思考能力を涵養することが大きな教育目標です。したが

って、この時期に特定の宗教的信条や人生観のみを教え込み、学生の視野と活動を一定の範囲に囲い込むことは教育上問題です。学生自身が自ら選択した結果だとしても、リベラルアーツの考え方や自分が自分らしく生きるといった現代的理念から考えると大いに問題があると言えます。

【勧誘事例】

事例1
学食で福祉サークルを名乗る先輩から勧誘を受け、一度参加した際に優しく迎え入れられた。その後は、毎日電話が来るようになり、風邪をひいて休んだ時には手紙をもらい、感激した。4月後半に1泊2日の合宿に誘われて参加した時に、宗教らしい内容の講義があったため、先輩に「宗教団体ですか?」と尋ねたが、「違よ。自分を高めるための勉強だよ。」と言われた。しかし、違和感を払拭できず、クラス担任に相談したところ、学生生活課へ相談するよう勧められ、その後、自ら辞める決意をした。

事例2
学内を歩いていた時に、2年生から「人生の目的を考えるサークル」に誘われた。一度は断ったものの、自分の連絡先を教えろと、何度も誘われたため参加することにした。毎日、大学の外にあるマンションの1室に通い、「人生の目的」について先輩からの話を聞いた。5月には、「新勧合宿」に誘われ、「仏教に説かれている絶対的幸福」について話をされ、徐々に仏教系の「宗教」であることを告げられるが、優しくしてくれた先輩方を裏切れない気持ちで、そのまま宗教団体に入ってしまった。2年生になるときは、新入生を勧誘する側となってしまった。

【最後に】

これまで、信仰の自由を尊重するということから、宗教等の勧誘に対し大学がきちんと対応することが難しい面は確かにありました。しかし、筑波大生として受け入れた以上、学生が悪質な勧誘を行う宗教団体の被害に遭うことのないよう、大学が予防に尽力すべきだということは言うまでもありません。これらの宗教団体の活動について、予防教育や情報を提供し被害を最小限にとどめることは大学の重大な責務です。本学では全学生向けの広報誌や新入生向けの冊子等でも悪質な勧誘を行う宗教団体に関して再三注意を呼び掛けていますが、巧妙な手口により被害に遭う学生が少なくありません。信者になった学生は、家族、友人、先生からの忠告を一切受け入れられなくなってしまい、宗教団体の教えの下に行動し、そして、勧誘する側になってしまいます。保護者の皆様におかれましては、お子様の帰省や電話等での連絡の際に、不審な勧誘に騙されないように注意を促すとともに、このようなことで困ったときには、直ちに大学の総合相談窓口や学生部学生生活課に相談してください。

※この記事は、個人の信仰を批判するものではなく、正体を隠した悪質な勧誘に騙されないよう注意を促すものです。

- | | |
|-----------|------------------------|
| ○総合相談窓口 | 029-853-8430 |
| ○学生部学生生活課 | 029-853-6092,2245,2246 |

就職特集 筑波大学のキャリア形成・就職支援

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)/学生部就職課

「キャリア」という言葉を聞いて、どんなことを思い浮かべますか？

職業経歴や仕事人生、時には国家公務員上級職等を指す場合もありますが、昨今では職業にまつわるものだけでなく、過去・現在・未来を含む様々な経験や役割の蓄積である「人生そのもの」という広い概念が一般的になっています。大学生にとっての「キャリア」とは、これまでのそしてこれからの「学生時代の様々な経験・出会い・学びの積み重ね」を含む「学生生活そのもの」です。

筑波大学では、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(以下、DACセンター)と学生部就職課が連携し、前述の広い「キャリア」の概念に基づきキャリア形成支援活動を行っています。学生が自分自身で考えながら社会についての視野を広げ、将来に向けて早い段階から少しずつ準備を進めていけるよう、学生の学びとキャリアを関連づけていけるよう様々なプログラム(イベントや各種情報提供、個別キャリア相談等)を提供しています。具体的には、学群1年生を対象とした学士基盤科目「キャリアデザイン入門～世界にはばたく未来の自分～」があり、学生一人ひとりが大学生活を積極的かつ有意義に過ごし、その後の人生設計(キャリアデザイン)の準備に不可欠な基礎づくりを目的としています。また、学生時代の経験・出会い・学びを記録に残せるよう本学オリジナルの「つくばキャリアポートフォリオ(愛称：CARIO)」があり、学群1年生にはフレッシュマン・セミナーにてこのCARIOの活用方法やワークシートの使い方等グループワークを通して紹介し、自身のキャリアをデザインするサポートをしています。学群生から大学院進学、修了までをフォローするキャリア形成支援を提供しています。

就職の動向に関しては、例年3月に入り新卒採用の広報解禁で採用活動が本格化しますが、2020年の春先から新型コロナウイルス感染症という誰も経験したことのない事態がおこり、企業も採用活動(会社説明会や面接など)のオンライン化が広がりました。DACセンター及び就職課も、いち早く個別キャリア相談や学内合同企業説明会などの各種就職イベントをオンライン化し対策をすると共に、ポストコロナ就活支援として、「新型コロナ危機を乗り越え！キャリア応援セミナー」を複数回開催しました。学生部就職課ホームページ(<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>)において、コロナ禍での就職活動の最新状況やイベントの情報を学生に伝えています。このように、大きく就職を取り巻く環境

の変化はありますが、学生の就職活動準備として、経験の棚卸や自身の強み等を把握する自己分析や業界・企業の研究を行うことの重要性はこれまでと変わりません。最後になりますが、就職内定は人生の通過点であってゴールではありません。DACセンター及び就職課では、学生が落ち着いて納得のいく就職活動ができるよう、中長期的な視点に立ったキャリア形成支援を引き続き行っていきます。



新型コロナウイルス予防対策を行いながら開催した、オンラインと対面でのハイブリット型イベントの様子 2020(令和2)年11月21日撮影



学生部就職課ホームページ
<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>

●次号以降、卒業生の進路状況について報告予定

学生相談室から

総合相談窓口 029-853-8430
学生相談受付 029-853-2415

出会いと別れの季節～身近なつながりを大切に

新入生の保護者の皆さま、お子様の筑波大学へのご入学おめでとうございます。これまでの道のりで、様々なご苦労もされてきたことと思います。春は出会いと別れの季節、と言われます。慣れ親しんだ環境から飛び出し、初めての大学生活を送っていくことは、一つの「出会いと別れ」です。また、「4月から頑張ろう」と気持ちを新たに切り替えていくことも、心理的な「出会いと別れ」なのかもしれません。

「出会い」は大学生生活の醍醐味の一つです。学友、教職員、部活動やサークル活動、研究、アルバイト、就職活動など、多様な出会いがあります。その出会いの中で自分を見つめ直し、新たな自分を発見し、磨き上げていきます。また、大学生は青年期と呼ばれる段階にあたり、自己を確立していく土台となる時期です。皆さまから見ると、「この子もずいぶん大人になったなあ」と感じる反面、きちんと生活はできているのか、授業についていけているのか、友達と上手くやれているのかなど、ご心配事も尽きないかと思えます。

人間系 桶谷雅人

この青年期では、子どもは親から距離を取りながら、心理的な自立を目指していきます。親としては頼もしくも少し寂しい「別れ」のように感じるかもしれません。しかし、自立の過程は険しいもので、自分自身や対人関係、進路などに悩み、時には傷つくこともあります。そのような時に、そっと見守ってくれる家族の存在は、子どもの心の支えとなります。今の社会状況下では、出会いの機会が減り、人や社会とのつながりも希薄になり、孤立しやすいと言われます。先行きの見えない今だからこそ、私たちが家族との「身近なつながり」に支えられていることを痛感しますし、そのつながりを大切にしたいものです。

誰もひとりでも心配事を抱えていくのは大変です。お子様のことでご心配があれば、一度構いませんのでご相談にいらしてください。「どうしようかねえ」と話しながら、一緒に考えていきましょう。学生相談室のスタッフ一同、学生の皆さん、保護者の皆さまのお力に少しでもなりたいと思っております。

桐の葉日記

暖かい日が増え、春の訪れを感じられるようになってきました。先日、自転車で公園を通ると、木々から淡い甘い匂いがして、つい立ち止まってしまいました。

私にとって、今年の春は筑波に来てから初めての春です。昨年度の春学期は、感染症の拡大により、入学式をはじめとする様々な行事がなく、授業もほぼオンラインとなったため、他県の実家から授業を受けていました。考えても仕方がないと分かっていても、楽しみにしていた行事や、会はずだった誰かに想いを馳せて、やるせない気持ちになることもありました。

秋学期、筑波にやってきて、体育会の部活に入り、体育会執行委員となりました。

私の中で止まっていた時が大きく動き出して、日々消化しきれない程の新たな経験をしています。その活動の一つに、この「紫峰の風」の編集があります。

抱えたやるせなさをすべて前向きに置き換えて飲み込む必要はないけれど、時は前に進んでいくのだと理解したとき、目の前の沢山の学びに気づけるようになった気がします。

今年度入学された新入生の皆さんも、例年通りというわけにはいかないけれど、筑波大学の個性豊かで魅力ある人々との関わりを、一緒に工夫しながら楽しんでいきましょう。今年度も「紫峰の風」をどうぞよろしくお願ひ致します。

(文責/体育会広報局長 小林桃子・比文2年)

第1期分授業料納付期日のお知らせ

2021年度第1期分授業料の納付期日が以下の通りとなります。口座引落の方は5月26日(水)までに指定口座へご入金下さい。また、引落口座を開設していない方へは振り込み用紙を送付しておりますが、原則として口座引落による納付としておりますので、第2期分以降は口座引落となるよう手続きをお願いいたします。

金額 267,900円(ただし、法科大学院は402,000円)
引落日 5月27日(木) 納付期限 5月31日(月)
■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入) 029-853-2161

紫峰の風 第20号 2021年4月発行

発行 事業開発推進室
編集 学生部学生生活課
学生広報会議
(菟場広翔・知識2年、佐藤翔哉・物理2年、村松翔・工学3年、内田小希・資源2年、中嶋梨花・資源3年、梁安吉子・人社研2年、小林桃子・比文2年、角達之介・医学3年)
広報部会
(河原井かれん・芸専4年、高見沢仙美・応理4年、村松真緒・社会3年)

タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
電話:029-853-5886 E-mail:gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学紫峰会基金WEBサイト

<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/>



紫峰の風送付先変更の連絡はこちら
E-mail: renkei@un.tsukuba.ac.jp 電話: 029-853-2030

在学生の保護者向けの情報をお届け！
筑波大学 × LINE
友だち→友だち追加→QRコードを選択し、カメラで右のQRコードを読み込む